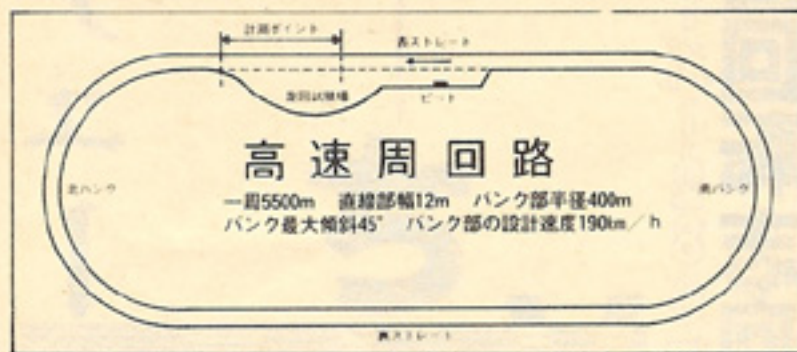


速さへの挑戦 抜かれたら抜きかえす!!

これが男を立たせるヤタベだ



「ヤタベ」一。茨城県谷田部町にある自動車研究所を我々はそう呼ぶ。今までに幾度となくドラマを生んで来たのもこの場所だ。その最たるものが昨年12月21日、トライアルZが記録を出し、そして今回のトラストソアラの記録を生んだことと言えよう。期待を大きく裏切られることもあれば、とてつもないプレゼントをくれることもある。1周5.5kmの高速周回路に男たちは夢を、意地を賭ける。

男たち、いったい サンビヤクってなんだ

記録は塗り替えられた。次の目標は309・278km/hを超えることだ。ここでもう一度考えてみたい。いったいサンビヤクって何なんだろう。最高速トライアルが開始されてからすでに3年という月日が流れている。その間、トラスト、RE雨宮、RSヤマモトの御三家の抜きつ抜かれつのデットヒート。何回ものトライアルを行ないながらも300km/hの壁を破れず足踏みした日。天候不順、谷田部に持ち込んだがトラブルで走らずじまい。色々な事があつた。主催する我々でも忘れかけている出来事はたくさんある。

いくつかの出来事をステップに、トライアル・フェアレディZが、307・955km/hで翔んだ。遠路はるばる大阪から……。そのために莫大な費用と丸3日をつぶした。しかし記録は、はかない。これはよく言われる言葉だが、最高速トライアルにそのことは合せてはまっていた。約半年、正確には164日間、王座であったが、この場で君たちに報告しているように、それは破られた。

燃えられるのである。



▲Zのオーナー、全本クンの闘志も新たに

何が男たちを300km/hの世界に引きすり込むのだろう。当人たちも、それがどうしてであるか、知らず知らずのうちに300km/hの世界にのめり込んでいるのかもしれない。それだけ魅力のあることなのだ。もちろん、我々スタッフもその世界に足を踏み入れている。



▲何がこの2人を泣かせるのだろうか

ほとんどの場合、最高速トライアルは明け方に行なわれる。トラブル続きでよい記録が出なければ、帰りの足どりも重いし、ムツ、次はいくかな?なんて好材料がある日には、ねむい眼こそすってでも気合を入れ、計測機などのセッティングも出来てしまうものだ。とにかく、男たちはその時を味わうべく、燃える。

スピードに全精力を注ぐ男たち、そしてそれを見守るボクたち。誰もチューニングを行なう場合、決してスピードが落ちないようにすることはまずあり得ない。マフラーを替えるにしてもターボを装着するにしても、速さ、やつより速い、俺のクルマの方が速いんだ。そう思っているに違いない。そう、速さこそがボクたちの憧れであり、それを追い求める。その頂点に、現在立っているのがトラストであり、それを追う後継軍団たちである。



▲最高速軍団に名をつらねたHKS千葉の左から阿部、神保、岩村、高木の4名。今後に期待!

アツシが流した涙、平田クンの「永かった」のひと言、破られた牧原氏、新たな闘志を燃やすRSヤマモト、HKS千葉、それぞれにドラマがあり、時として誰にも受け入れられない事もある。

だが、それを乗り越えてこそ、最高速日本一という共通した目標を持つトライアルたちが、しのぎを削るには十分すぎるほどの意義を持っていると思う。

一周5.5kmの谷田部(副)日本自動車研究所の高速周回路。すぐ隣では科学万博がにぎわいを見せているがここ谷田部では、そんなチャラチャラした雰囲気はなく、常に真剣勝負だ。

バンクに消え、再びバンクから現われる。時間にして1分少々だが、そのわずかな時間は、男たちにとって、とても素敵なひと時である。その素敵な時間が君に伝わったとしてもう一度サンビヤクについて考えてみよう。色々とかたくを並べて来たが、長期間に渡り行なわれてきた最高速トライアルは、理屈抜きに「男のロマン」だ。

レースの最高峰がル・マンであるならば、ボクたちはこれを、「ロ・マン・トライアル」そう呼んでみたい。



▲ドライバー・井上選手の息気も高まる

原が巻き返すか、RSヤマモトがくるか、HKS千葉は? チャンピオン・トラストのタイトルは防衛できるか。それは誰もが考えることだ。

トラスト・大川氏に記録達成後、こう聞いてみた。この大記録、いつまでもつと思うか、そして破られたらどうするか。

彼は「ウーン、半年は大丈夫なんじゃないかな。破られた時にはまた考えるよ」と笑って答えた。しかしその言葉の裏側には、「破られたくない、誰も破ってくれない」そんな気持ちがあったのでは……。

追う最高速軍団、追われるトラスト、いよいよ290km/h台からオーバー300km/hの世界へと戦場は移された。

この支離な戦いを目前で感じ、それを君たちに報告できることは、本当にうれしいことだ。